



2018年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年11月8日

上場会社名 株式会社よみうりランド 上場取引所 東
 コード番号 9671 URL http://www.yomiuriland.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 美邦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経理部担当 (氏名) 久米沢 賢尚 (TEL) 044-966-1134
 四半期報告書提出予定日 2017年11月10日 配当支払開始予定日 2017年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	10,023	△2.6	1,049	△8.1	1,194	△23.7	1,798	—
2017年3月期第2四半期	10,288	15.8	1,141	△16.4	1,566	△15.0	△476	—

(注) 包括利益 2018年3月期第2四半期 2,123百万円(—%) 2017年3月期第2四半期 △1,114百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	233.92	—
2017年3月期第2四半期	△61.84	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第2四半期	69,004	27,583	40.0
2017年3月期	68,312	25,652	37.6

(参考) 自己資本 2018年3月期第2四半期 27,583百万円 2017年3月期 25,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2018年3月期	—	2.50	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	25.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の2018年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は2円50銭となり、1株当たり年間配当金は5円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,150	△4.3	1,350	△35.9	1,560	△40.5	1,980	△44.3	257.53

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期2Q	8,352,202株	2017年3月期	8,352,202株
② 期末自己株式数	2018年3月期2Q	663,876株	2017年3月期	663,679株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期2Q	7,688,423株	2017年3月期2Q	7,708,575株

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、2017年6月22日開催の第93回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

なお、株式併合考慮前に換算した2018年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 1. 2018年3月期の配当予想
1株当たり配当金 第2四半期末 2円50銭 期末 2円50銭 年間配当金合計 5円00銭
- 2. 2018年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 25円75銭

(日付の表示変更について)

当第2四半期より日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続きました。当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費については、緩やかに持ち直しの動きが続くものの力強さを欠く状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは新規イベントの開催や既存イベントの強化などの積極的な営業展開により、顧客満足度の一層の向上に努めて参りました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同四半期比1日増となる34日開催されました。6月には重賞「関東オークス」が開催され、売上金額において昨年のレースレコードを更新するなど盛り上がりを見せました。また、新たな顧客の獲得を目指し、「100円ビールフェスin川崎」や「全国餃子まつりinかわさき」など様々なイベントを開催したところ、2016年2月にオープンした商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」からの利用客も相まって、多くのお客様で賑わいました。なお、JRAの場外発売「ウインズ川崎」は、前年同四半期比2日増となる54日実施されました。船橋競馬は、前年同四半期比2日増となる32日開催されました。3年目を迎えたナイター競馬「ハートビートナイター」は、今年度も4月から開催いたしました。5月にはビッグレース「かしわ記念」が開催され、同日には恒例の「おうまフェス2017」を近隣商業施設と共に主催し好評を博しました。JRAの場外発売「J-PLACE船橋」は、前年同四半期同様26日実施されました。2016年4月にオープンした複合型場外発売施設「サテライト船橋・オートレース船橋」での発売は、サテライト船橋が前年同四半期比5日増となる181日、オートレース船橋が前年同四半期比6日増となる173日実施されました。オートレース選手とのファンミーティングや有料席利用者に進呈するポイントを強化したキャンペーンなど様々なイベントを開催し、好評を博しました。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、競技会の受入れをはじめ、引き続き自主コンペや企画を積極的に実施いたしました。また、本年7月20日より運用を開始した乗用カートの効果もあり、メンバーを中心に入場者は増加いたしました。よみうりゴルフ倶楽部は、引き続き自主コンペが堅調に推移したことや積極的な外部営業などを実施した結果、入場者は増加いたしました。なお、遊園地のイベント「ほたる・ねぶたの宵」と連携したクラブハウスレストランのイベント「ほたる・ねぶたの宵 特別ディナー」を開催し、好評を博しました。静岡よみうりカントリークラブは、「レディースゴルフフェスタ2017」など女性をターゲットとした施策を継続的に実施いたしました。また、特産品やスイーツなどを賞品としたオープンコンペなどが集客に寄与した結果、入場者は増加いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、リピーター獲得のため、来場者に積極的にアピールする優待施策や開場40周年を記念したイベントなどを実施した結果、入場者は増加いたしました。

遊園地部門の遊園地では、ゴールデンウィークに全国のご当地グルメを集めた「全国ご当地大グルメ祭2017」を今年も開催し、初夏には恒例のほたる観賞イベントを今年は青森ねぶたを会場内で展示する「ほたる・ねぶたの宵」として開催し盛り上がりを見せました。夏の期間中は6月中旬からエンタテイメントプロジェクト「HiGH&LOW」の世界を体験できる「HiGH&LOW THE LAND」と「HiGH&LOW THE MUSEUM」を、7月中旬からは園内のいたるところで水しぶきが舞う「ずぶぬれランド」をそれぞれ9月上旬まで開催し、幅広いお客様にお楽しみいただきました。また、9月中旬からは、「Yomiuriland Halloween 2017」を開催いたしました。新たに、プロジェクションマッピングと現代影絵の専門劇団・かかし座による影絵をコラボレーションさせた「光と影のアートマッピング～Shadow Halloween Night～」を実施し、多くのお客様で賑わいをみせました。これらの結果、入場者は増加いたしました。夏のプールWAIは、国産天然水「キリン 晴れと水」とコラボレートしたウォーターゲーム「アクアゲッター」や、今年で8年目を迎えるオリジナルダンスと放水ショーのコラボレーションショー「ダンスブラッシュ!!」、例年人気のおもちゃのアヒルレースのほか、スマートフォンと連動するウォーターライダー「思い出ライダー『メサージュ』」が初登場するなど、エンタテイメントプールとして毎日多数のイベントを開催し、好評を博しました。しかしながら、8月に東京では40年ぶりとなる長雨の影響などもあり、入場者は減少いたしました。温浴施設「丘の湯」は、食品の抽選会や回数券ポイント2倍キャンペーンなどのイベントが好評を博しましたが、4月や9月の荒天の影響などにより入場者は減少いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では「ほたる・ねぶたの宵」と連携した「天安 ほたる・ねぶたの宵 特別ディナー」を実施したほか、プラザ内のベーカリーや和菓子店においても「ほたる・ねぶたの宵」にちなんだ商品などを販売し、好評を博しました。温浴施設「季乃彩(ときのいろどり)」は、替わり湯や食事処で季節毎のメニュー提供を実施した結果、入場者は増加いたしました。ゴルフガーデン(練習場)は、「スタンププラス1キャンペーン」や「プリカ&カラーボールキャンペーン」などのイベントを実施した結果、入場者は増加いたしました。親子向け屋内遊戯施設「キドキドよみうりランド店」は、「ほたる・ねぶたの宵」と連携したイベントを開

催し好評を博したほか、夏向けの集客用横断幕の掲示などを実施した結果、入場者は増加いたしました。商業施設「グランツリー武蔵小杉」内の「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」は、平日イブニングパスの発売や総来場者数が50万人を達成した記念イベントなどが好評を博したものの、外遊び向きの日が多かった事などもあり入場者は減少いたしました。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は90億3千1百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

また、不動産事業の売上高は6億8千万円（同4.2%減）、サポートサービス事業の売上高は14億5千3百万円（同10.5%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は100億2千3百万円（同2.6%減）、営業利益は10億4千9百万円（同8.1%減）、経常利益は11億9千4百万円（同23.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産売却益などにより、17億9千8百万円（前年同四半期は4億7千6百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億9千2百万円増加し、690億4百万円となりました。これは、有形固定資産が9億5千9百万円減少、受取手形および売掛金が3億5千7百万円減少したものの、現金及び預金が14億2千4百万円増加、投資その他の資産が4億3千8百万円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ12億3千8百万円減少し、414億2千万円となりました。これは、未払法人税等が6億1千2百万円増加したものの、長期借入金が10億5千1百万円減少、短期借入金が10億円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ19億3千万円増加し、275億8千3百万円となりました。これは、利益剰余金が16億6百万円増加したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の37.6%から40.0%に増加しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の通期の連結業績予想につきましては、おおむね計画通りに推移するものと見込んでいるため、2017年5月12日発表の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,313,770	5,738,601
受取手形及び売掛金	1,566,469	1,208,592
たな卸資産	135,427	115,737
繰延税金資産	136,813	157,277
その他	206,598	350,215
貸倒引当金	△1,028	△392
流動資産合計	6,358,050	7,570,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,785,539	27,202,856
土地	16,390,743	16,228,800
建設仮勘定	109,905	322,969
その他（純額）	4,841,323	4,413,155
有形固定資産合計	49,127,512	48,167,781
無形固定資産		
その他	66,366	68,118
無形固定資産合計	66,366	68,118
投資その他の資産		
投資有価証券	12,261,746	12,759,760
繰延税金資産	185,738	183,440
その他	312,608	254,904
投資その他の資産合計	12,760,094	13,198,104
固定資産合計	61,953,973	61,434,005
資産合計	68,312,023	69,004,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	448,848	433,843
短期借入金	2,070,000	1,070,000
1年内返済予定の長期借入金	1,424,236	1,862,876
未払法人税等	250,145	862,536
賞与引当金	131,345	135,723
その他	1,858,563	1,337,747
流動負債合計	6,183,138	5,702,727
固定負債		
長期借入金	8,754,764	7,703,126
繰延税金負債	2,460,701	2,579,327
退職給付に係る負債	522,857	532,975
長期預り金	24,196,655	24,299,917
その他	541,266	602,636
固定負債合計	36,476,244	35,717,983
負債合計	42,659,383	41,420,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,631	4,730,658
利益剰余金	12,904,854	14,511,112
自己株式	△2,277,354	△2,278,352
株主資本合計	21,411,161	23,016,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,244,831	4,570,294
繰延ヘッジ損益	△3,352	△3,417
その他の包括利益累計額合計	4,241,479	4,566,876
純資産合計	25,652,640	27,583,326
負債純資産合計	68,312,023	69,004,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	10,288,925	10,023,549
売上原価	8,139,885	7,980,815
売上総利益	2,149,040	2,042,734
販売費及び一般管理費	1,007,969	993,565
営業利益	1,141,070	1,049,169
営業外収益		
受取配当金	149,283	151,135
建設発生日受入金	279,202	—
その他	33,839	21,104
営業外収益合計	462,325	172,240
営業外費用		
支払利息	32,757	23,990
その他	4,251	2,445
営業外費用合計	37,009	26,436
経常利益	1,566,386	1,194,973
特別利益		
固定資産売却益	18,334	1,454,785
特別利益合計	18,334	1,454,785
特別損失		
固定資産除却損	1,281,080	74,489
減損損失	1,356,662	—
特別損失合計	2,637,743	74,489
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,053,022	2,575,268
法人税、住民税及び事業税	407,790	819,817
法人税等調整額	△984,116	△43,020
法人税等合計	△576,325	776,797
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△476,697	1,798,471
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△476,697	1,798,471

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△476,697	1,798,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△637,267	325,463
繰延ヘッジ損益	△938	△65
その他の包括利益合計	△638,206	325,397
四半期包括利益	△1,114,903	2,123,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,114,903	2,123,868
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,287,666	708,868	292,390	10,288,925	—	10,288,925
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,046	1,800	1,331,952	1,337,798	△1,337,798	—
計	9,291,713	710,668	1,624,342	11,626,724	△1,337,798	10,288,925
セグメント利益	1,484,446	478,099	116,786	2,079,332	△938,262	1,141,070

(注) 1. セグメント利益の調整額△938,262千円には、セグメント間取引消去△8,562千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△929,699千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合レジャー事業」セグメントにおいて、当社の所有する船橋オートレース場の諸資産に関して、工作物等を収去のうえ、土地所有者に明け渡すことで合意に達しました。これに伴い、当第2四半期連結累計期間に固定資産の減損損失1,356,662千円を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,028,681	678,662	316,205	10,023,549	—	10,023,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,654	1,900	1,137,729	1,142,284	△1,142,284	—
計	9,031,336	680,562	1,453,935	11,165,833	△1,142,284	10,023,549
セグメント利益	1,433,162	426,818	95,048	1,955,029	△905,859	1,049,169

(注) 1. セグメント利益の調整額△905,859千円には、セグメント間取引消去△5,452千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△900,407千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。